

# 2022年度(令和4年度) 大津市乳がん検診実施状況

## 1 2022年度(令和4年度) 精度管理指標値比較

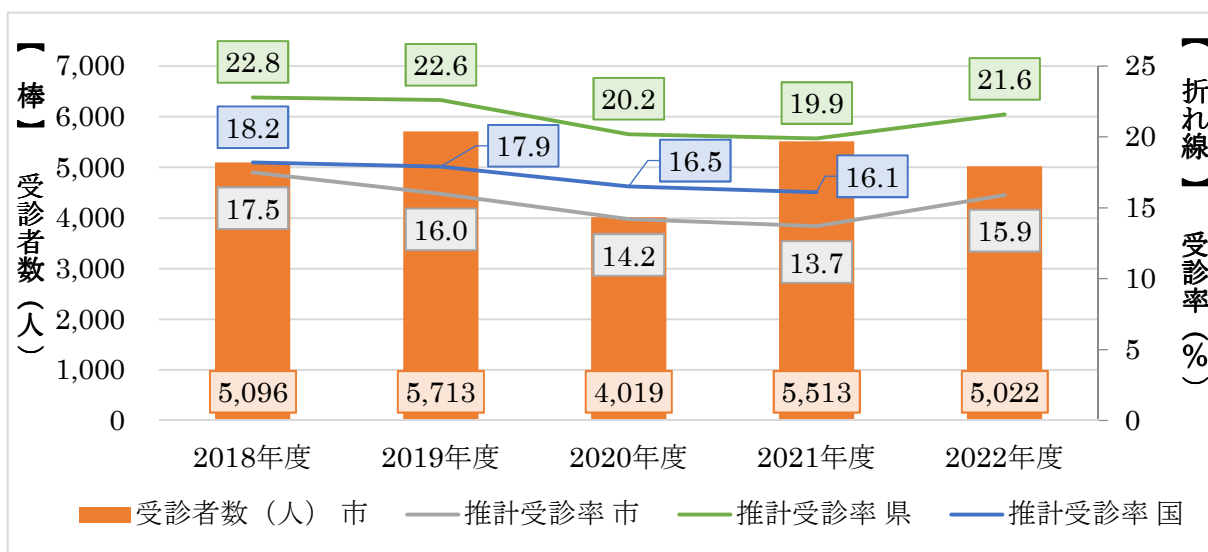
	大津市	滋賀県	全国 (R2年度)	(A) 許容値 (B) 目標値	【再掲】 大津市 69歳以下
対象者数(人)	66,161	239,996			28,464
検診受診者数(人)	R3 5,513 R4 5,022	R3 27,409 R4 24,863	R1 3,109,208 R2 2,565,850		R3 4,781 R4 4,235
推計受診率(%) (※1)	15.9	21.6	16.5		31.7
要精検者数(人)	436	1,608	150,236		391
要精検率(%)	8.7	6.5	5.9	(A) 11.0以下	9.2
精検受診者数(人)	424	1,559			380
精検受診率(%)	97.2	97.0	90.1	(B) 国: 90.0以上 市: 100	97.2
がん発見者数(人) (※2)	14	75	8,774		8
がん発見率(%)	0.28	0.30	0.34	(A) 0.23以上	0.19
陽性反応適中度(%)	3.2	4.7	5.8	(A) 2.5以上	2.0

(※1) 推計受診率 =  $\frac{\text{受診者数(隔年実施の検診にあたっては2年間の受診者)}}{\text{対象年齢人口-(就業者数-第一次産業就業者数)}} \times 100$

(※2) 追跡調査後のがん発見者数

## 2 受診者数及び受診率推移

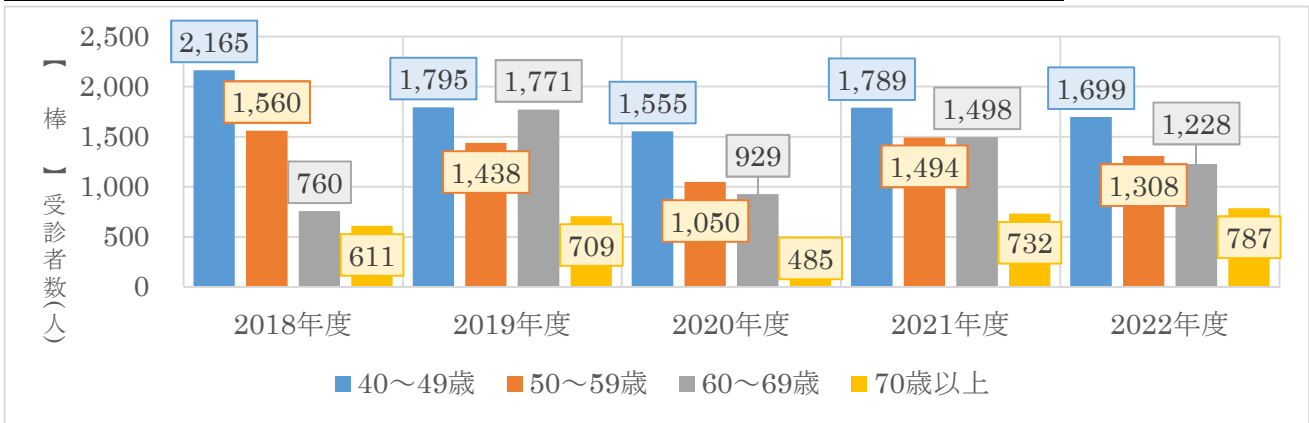
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
対象(人)	市	66,177	67,359	68,466	69,388	66,161
受診者数(人)	市	5,096	5,713	4,019	5,513	5,022
推計受診率(%)	市	17.5	16.0	14.2	13.7	15.9
	県	22.8	22.6	20.2	19.9	21.6
	国	18.2	17.9	16.5	16.1	—



2020年度に低下した受診率は回復傾向にあり、受診意欲はコロナ以前の状態に戻ってきていると考えられる。受診率は全国・県よりも低めで推移している。

### 3 年代別受診者数（人）

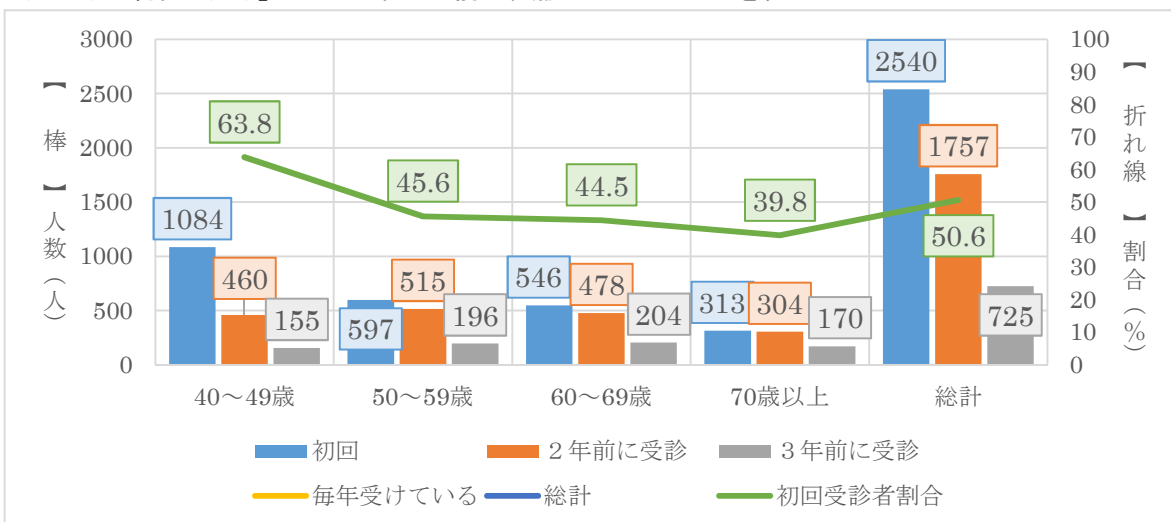
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	総計
40～49歳	2,165	1,795	1,555	1,789	1,699	9,003
50～59歳	1,560	1,438	1,050	1,494	1,308	6,850
60～69歳	760	1,771	929	1,498	1,228	6,186
70歳以上	611	709	485	732	787	3,324
総計	5,096	5,713	4,019	5,513	5,022	25,363



### 4 2022年度 年代別・受診履歴別受診者数及び初回受診者割合

	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
初回（人）（※3）	1,084	597	546	313	2,540
2年前に受診（人）	460	515	478	304	1,757
3年前に受診（人）	155	196	204	170	725
毎年受けている（人）	0	0	0	0	0
総計	1,699	1,308	1,228	787	5,022
初回受診者割合（%）	63.8	45.6	44.5	39.8	50.6
（参考）2021年同割合	54.9	37.6	35.0	34.2	42.1

（※3）「初回（人）」には4年以上前に受診しているものを含む



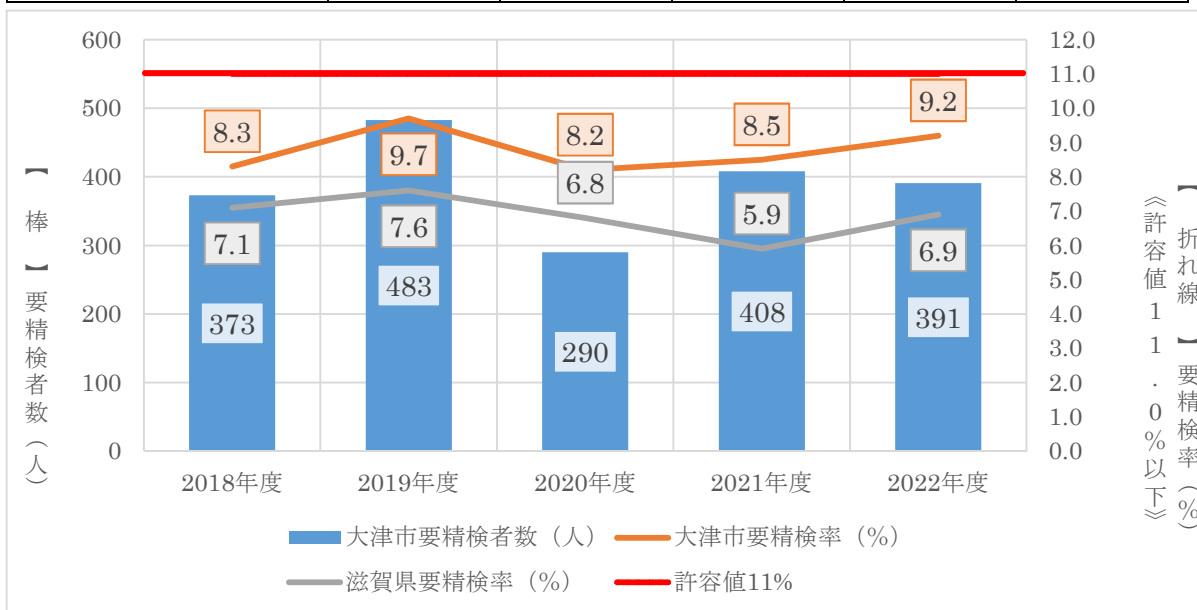
40歳代の受診者が最も多い。また、60歳代は勧奨を再開した2019年度以降コロナ禍による検診停止のあった2020年度を除き、同程度の受診者数を維持している。乳がん罹患年齢は40歳代と60歳代でピークとなることから、今後も40歳から69歳までの受診勧奨を継続し、受診率向上に努めていく必要があると考える。

各年代層で初回受診者数が増加しており、コロナ禍による受診控えにより間隔が開いてしまったことが伺える。

5 要精検率及び要精検査者数推移 (40～69歳)

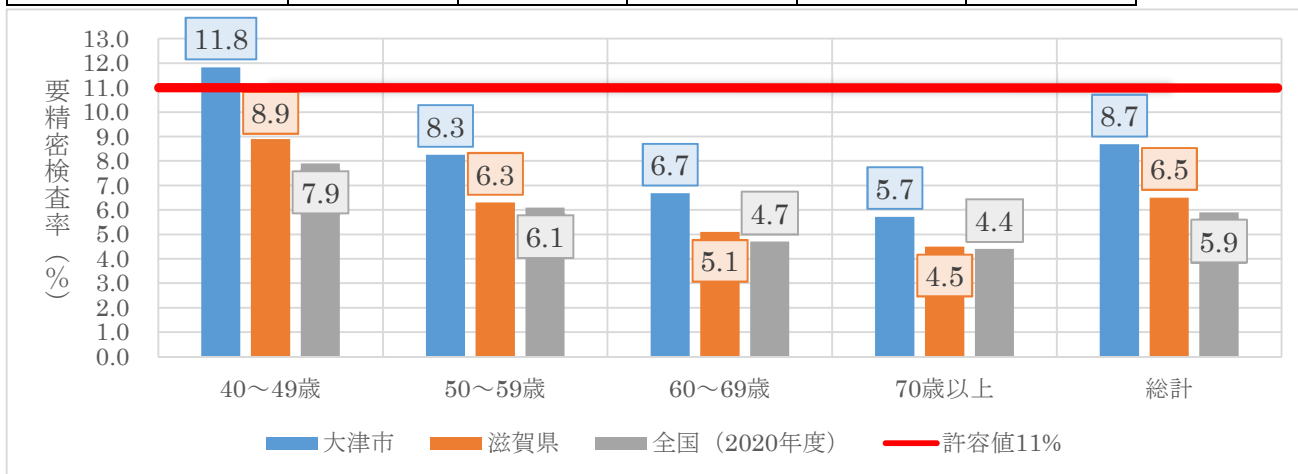
※要精検査率 許容値：11.0%以下

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大津市要精検者数(人)	373	483	290	408	391
大津市要精検率(%)	8.3	9.7	8.2	8.5	9.2
滋賀県要精検率(%)	7.1	7.6	6.8	5.9	6.9



【2022年度 年代別要精検率】(%) ※要精検査率 許容値：11.0%以下

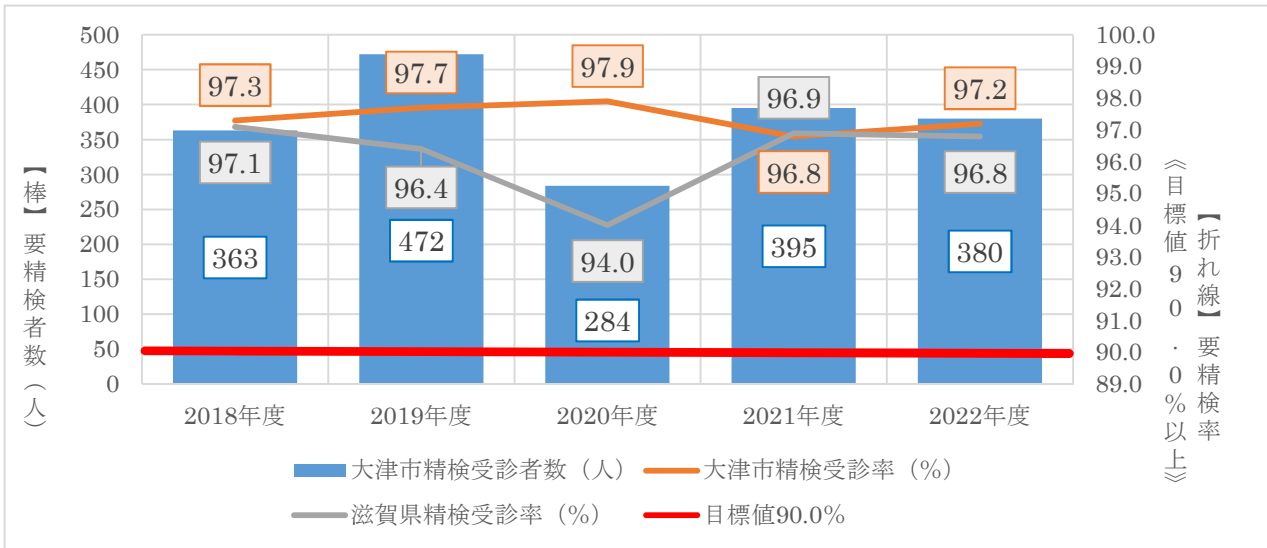
	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
大津市	11.8	8.3	6.7	5.7	8.7
滋賀県	8.9	6.3	5.1	4.5	6.5
全国(2020年度)	7.9	6.1	4.7	4.4	5.9



全体の要精検率は許容値内で推移しているものの、2022年度で40歳代が許容値を上回っている。また、滋賀県・全国と比較して高い値で推移している。

6 精検受診者数及び精検受診率推移 (40～69歳) ※精検受診率 目標値：(国) 90.0%以上 (市) 100%

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大津市精検受診者数(人)	363	472	284	395	380
大津市精検受診率(%)	97.3	97.7	97.9	96.8	97.2
滋賀県精検受診率(%)	97.1	96.4	94.0	96.9	96.8



目標値より高い状態を維持している。未把握者に対しては、受診機関への照会をした上で、受診勧奨ハガキの送付及び電話にて受診を促しており、引き続き丁寧に対応し精検受診率を維持していく。

7 精密検査結果 (「がん」は追跡調査後のがん発見者数)

(1) 2022年度 要精検者の精密検査結果 (人)

	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
がん	1	4	3	6	14
がん疑い	2	3			5
その他	19	10	4	2	35
線維腺腫	25	9	7	5	46
乳腺症	60	22	15	7	104
異常なし	86	57	53	24	220
未受診	8	3		1	12
総計	201	108	82	45	436

(がんの進行期内訳)

早期がん：9人

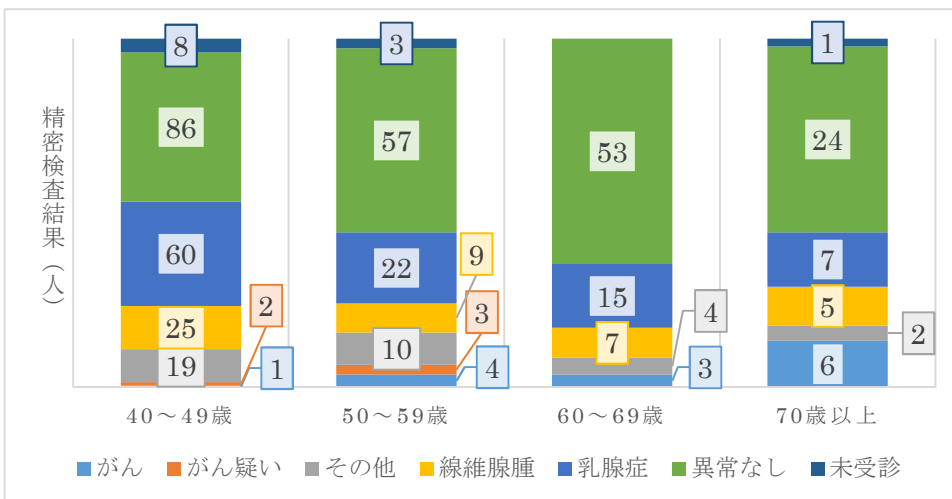
(50歳代4人、60歳代2人、70歳代3人)

進行がん：4人

(60歳代1人、70歳代3人)

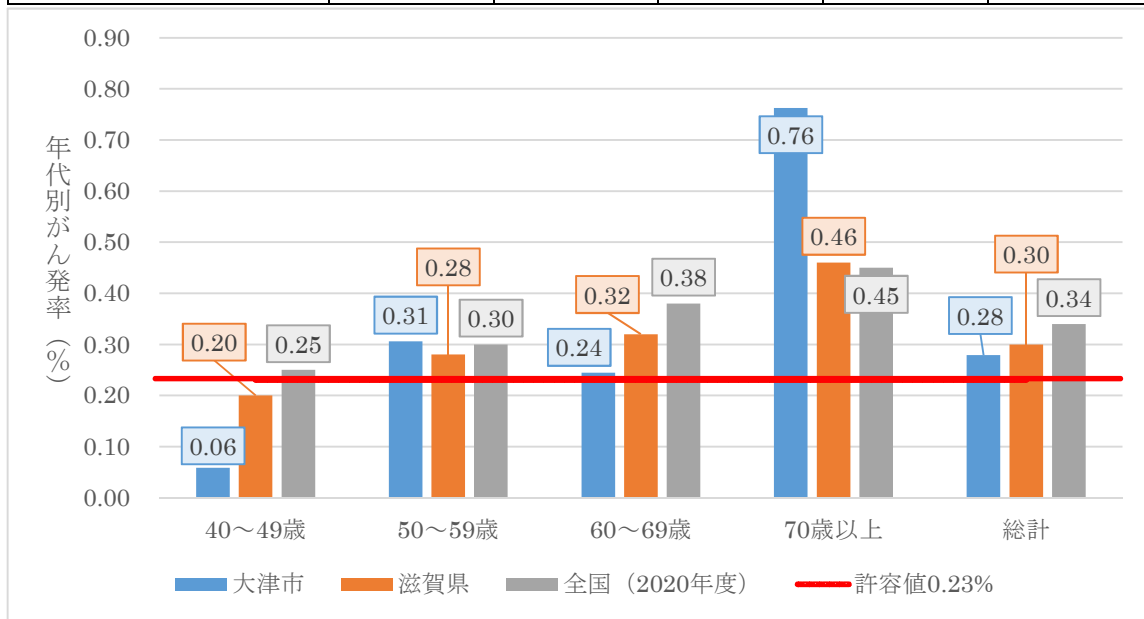
病期不明：1人

(40歳代1人)



(2) 2022年度 年代別がん発見率(%) ※がん発見率 許容値: 0.23%以上

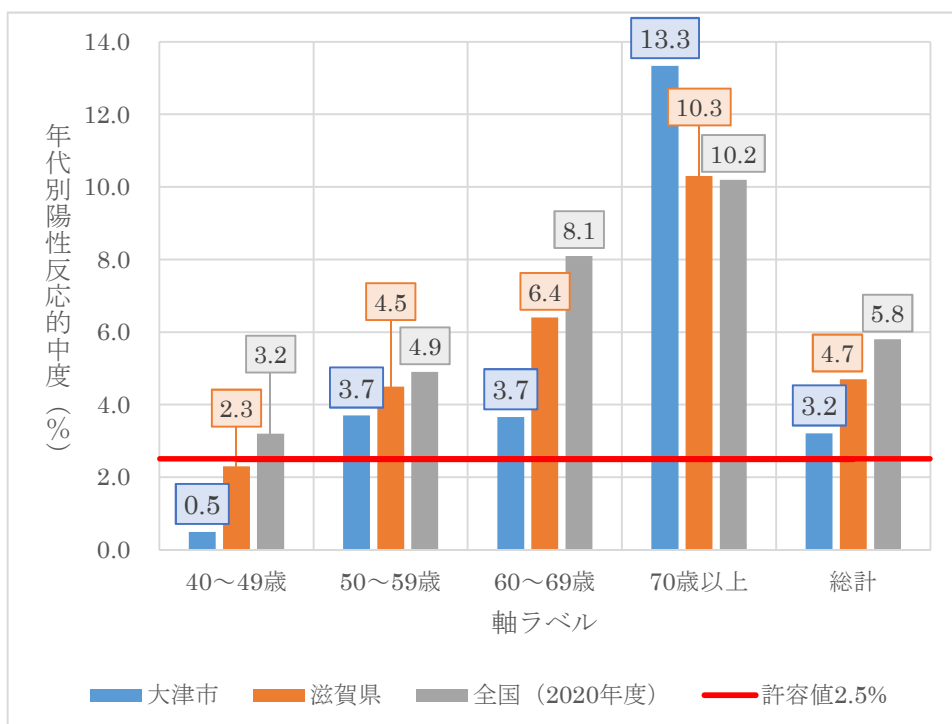
	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
大津市	0.06	0.31	0.24	0.76	0.28
滋賀県	0.20	0.28	0.32	0.46	0.30
全国(2020年度)	0.25	0.30	0.38	0.45	0.34



がん発見者は前年度より減少しているが、がん発見率の許容値は上回っている。また、進行期内訳は早期が最多である。がん発見率は70歳代が高く、40歳代は低く許容値を下回っている。

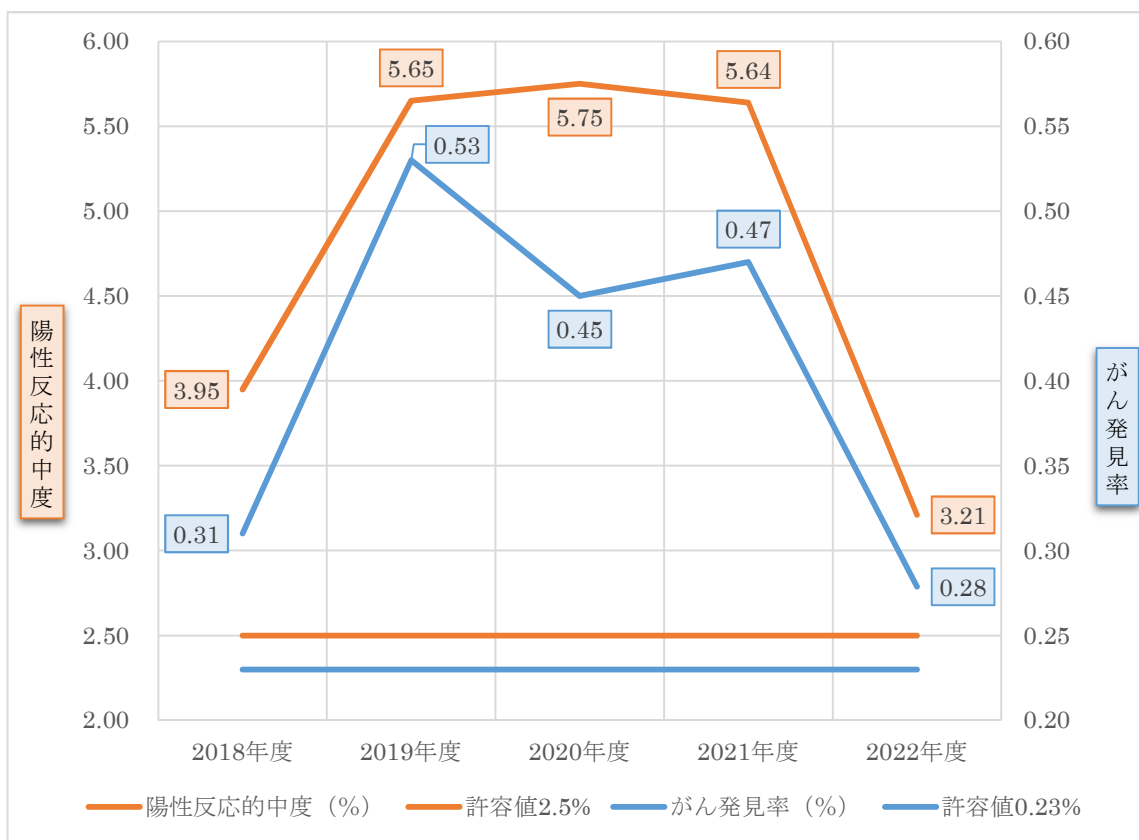
(3) 2022年度 陽性反応的中度(%) ※陽性反応的中度 許容値: 2.5%以上

	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総計
大津市	0.5	3.7	3.7	13.3	3.2
滋賀県	2.3	4.5	6.4	10.3	4.7
全国(2020年度)	3.2	4.9	8.1	10.2	5.8



(4) がん発見率及び陽性反応的中度経年推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
がん発見率 (%)	0.31	0.53	0.45	0.47	0.28
陽性反応的中度 (%)	3.95	5.65	5.75	5.64	3.21



がん発見率、陽性反応的中度ともに低下しているが許容値以上。しかしながら、40歳代の陽性反応的中度が許容値以下である。なお40歳代は要精検率、がん発見率も許容値を外れており、今後の推移を注視していく必要がある。